

こすぎの風

WIND from Musashikosugi

あの人に会いたい!

新シリーズ

第1回

所英男さん
インタビュー

コスギフェスタ2012
スペシャルインタビュー
2011から2012へ

活動報告

こすぎナイトキャンパス
防災ワーキンググループ
パパママパークこすぎ

第2号

あの人に会いたい!

武蔵小杉にゆかりのある方たちにお話を聞く「あの人に会いたい!」。

第1回目は「闘うフリーター」こと格闘家の所英男さんです。

現在は武蔵小杉でフィットネスジムを開いている所さん。

じつは武蔵小杉とは縁が深く、その縁は所さんが

上京したときからはじまるとか。

楽しい話をうかがいました。

武蔵小杉は
「第二の故郷」と
呼んでいます

第1回

所英男さんインタビュー



—所さんご自身、武蔵小杉にとっても縁が深いとお聞きしたんですが。

「そうですね、武蔵小杉とはたしかに縁があります。もう10年くらい住んでいます。会社を辞めるときに、察があった武蔵小杉の近くを探したんです。それがきっかけですね。以来ずっと小杉に住んでいます」

—そのころと、いまとではだいぶ雰囲気も環境も大きく違うのではないのでしょうか。

「はい、ぼくが住みはじめたところは、もうちょっと雑然とした雰囲気がありまして、タワーマンション群が整然と建っているあたりとはずいぶん違いますねえ。住んでいたのは、サライ通りです」

—いま、ご自身のジム（所さんが指導されている、フィットネススタジオ「所プラス」<http://tokoro-gym.com/>）を開いてらっしゃるあたりですか。

「そうです。あのあたりですね。小杉には長く住んでいます。このあたりのタワーマンションが建つ前って、何があったのかちょっと思い出せなかったりしますね。住んでいたところから、建設中のタワーマンションが見えて、『ああ、あんなところに住めたらいいな』って思っていました」（※このインタビューのあと、奥様から「所は、ここで決めた場所からはあちこち転々とするのはしないんです。食べ物屋さんもそうです。ここだ！と決めたら、その店にずっと行きつづけるんです」というお話をいただきました）

—いまはその憧れのタワーマンションにお住まいになっていらっしゃいますね。

「はい。でも、これはいろんな人に支えられて、助けていただいた結果なんです。たとえば、僕が勝手に「小杉の母」と呼んでいる人がいるんですけど、この方はコンビニやってらっしゃるんですが、腹が減ってもお金がないときなんか練習の帰りにお弁当をいただいていた。それから、自宅の大家さんは格

闘技好きなんで、特別にいまの部屋を貸してもらっているんですよ。そういういろんな方の縁によって、いまの僕があります。みなさんには本当に感謝しています」

—ジムはもともとやろうと思われていたんですか。

「いや、じつはこれも縁なんです。もともと僕自身はジムを開く予定はなかったんですが、自宅の大家さんが、『いま空いているから、やったらいい』と家内と一緒に勧められたので、背中を押された感じで始めたんです。下積み時代には、サライ通りの風呂なしアパートに住んでいて、試合の時によくテレビで紹介してもらっていたのですが、今回ジムをやろうか迷っていたときに、そのアパートのすぐ近くの物件が空いたということで縁を感じて、ジムオープンを決意しました。ジムは今年の6月でオープン1周年になりましたが、家内や家内のお母さん、その他たくさんのスタッフに支えられて、ここまでやってきています。ほんとうに有難く思っています」

—とてもアットホームなジムですね。

「そうっていただけるとうれしいです。フィットネスの他にも、格闘技コースがあるのですが、格闘技ジムにはない雰囲気ですよ。格闘技ジムって、悪い意味ではなく、もうちょっと殺気立っているものなんです。このジムは和気あいあいという感じです。自分でもこんな雰囲気、大丈夫かなあとときどき思ったりするんですけどね（笑）」

—もうちょっと、とんがっていたほうがいいですか（笑）？

「いやあ、いまの雰囲気を大切にしたいですね（微笑）」

—ジムでは所さんが率先してお掃除とかされていますよね。それを見ると、この方

はほんとうにジムを愛されているんだなあと感じました。

「ははは、それは自分が好きだからやっているんですよ。家内には自己満足、といわれています（笑）」

—所さんから見て、武蔵小杉のいいところって、どんな点がありますか？

「とにかく住みやすい。治安がいいというか。トラブルなんてあったことないですよ。武蔵小杉に来てから。ここに来て、川崎という街のイメージがガラッと変わりました。ぼくが地方にいたときには（所さんは岐阜のご出身—インタビューア註）、川崎というとなんとか怖いイメージがありましたけど、それが小杉に来て、すっかり変わりましたね」

—格闘家として活躍されていて、武蔵小杉で声をかけられることはありますか。そういうのが鬱陶しいと感じる有名人の方、多いとも聞いたりするんですが。

「いや、全然（笑）。いたって平穩です。マンションにいても声かけられないですし、とても気楽です（笑）」

—この号がでたら、そんなに気楽にならないかもですよ。

「ははははは」

—これから、所さんご自身小杉ではどんなことをされたいですか？

「ここには20歳すぎから住んでいて、もう第二の故郷と呼んでいるくらいです。小杉のお陰で人生が濃くなったんで、なにか恩返しはしたいなと思っています。ジムをやっていると、（みなさんを）待っている状態なので、自分から出かけていけるような“場”があればとってもうれしいです。ですので、NPOさんがやられているような、コミュニティづくりに役立つような“場”には、積極的に声をかけていただければと思っています」

（2012年6月10日インタビュー収録）



フィットネス／格闘技ジム【所プラス】

所英男

ところひでお

岐阜県出身、1977年生まれ。2001年プロデビュー。風呂なしアパートに住み、アルバイト生活を送りながら格闘技を続けていたことから、“闘うフリーター”のキャッチフレーズで「HERO'S」に出場。王者A.F.ノゲイラから劇的な勝利を挙げ、シンデレラボーイとして一躍全国区に。ハイスピードな寝技とアグレッシブなファイトスタイルに定評がある。大晦日7年連続出場中。2011年7月「DREAMジャパングランプリ」優勝、初代バンタム級王者に輝く。

コスギフェスタ2012

2011から2012へ!!
September, 2012



山中佳彦 / コスギフェスタ座長
Y.YOPPY / KOSUGI FESTA Chairman



みなさまこんにちは!!座長の山中です。昨年のコスギフェスタ2011ではジャック・スパロウに変装して会場全体を巡回していました。覚えていらっしゃるでしょうか?

おかげさまで、昨年のコスギフェスタは大きな事故もなく、無事に終えることができました。まずは、ご参加いただいた皆様、そして準備にあたって多大なるご協力をいただいた関係各所のみなさまに、深く御礼を申し上げます。昨年の実施報告については、報告書をNPOエリマネHPに掲載しておりますので、詳しくはこちらをご参照くださいませ。

<http://musashikosugi.or.jp/>

「子どもたちの笑顔と思い出のために武蔵小杉を彼らのふるさとにする」

この主テーマでスタートしたコスギフェスタは、今年、新たなサブテーマを追加いたします。

「なりたい自分になれる街。武蔵小

杉」
子どもはもちろんのこと、老若男女を問わず自分らしく楽しめる時間と場所。そういうものを創り出すことができたなら、というコアメンバーの熱い思いが込められています。

今年は新しい企画が目白押しです。まだ全てをご紹介することはできませんが、2つ、紹介させていただきます。

1.小学生を対象とした新ゲーム企画

昨年はハロウィンスタンプラリーに800組近い親子のご参加があり、大盛況でした。これは2~7歳くらいの子もたちが中心でして、実は再開発エリアの子どもの年齢構成で最も厚い層です。この子たちが次第に大きくなっていくことと、8歳以上の子もたちも次に厚い層であることから、小学生以上でも楽しめる参加型のゲームを鋭意企画中です。どうぞご期待ください。

2.コスギオリジナルダンスチームの結成

昨年、かわさき舞祭のダンスチーム4組にステージで熱いダンスを披露していただきました。今年は、小杉駅周辺の住民で構成されたオリジナルダンスチームを結成し、コスギフェスタ2012のステージで初デビューを目指します!メンバーはなんと5歳から70代まで、幅広い年齢層からご参加をいただいています。5月から練習を重ねており、この号が

出るころにはメンバー紹介もできると思います。NPOエリマネHPや武蔵小杉ライフさんを通して発表いたしますので、こちらもどうぞお楽しみに!

お祭りは参加するのも楽しいですが、創る側にまわるともっと楽しいです!!昨年はフェスタ当日に延べ200名近くのボランティアスタッフの方が活躍しました。今年も、昨年以上の盛り上げを予定しています。1日中スタッフをしなくても、イベントの合間のほんの1-2時間のボランティアワークが、このイベントの大きな担い手だったりしています。今年も、たくさんの方のご協力を宜しくお願い申し上げます。



国本隆宣 / 安全管理リーダー
T.KUNIMOTO / Safety Manager

A1. 元々NPOエリマネ理事を務め、昨年よりコスギフェスタWGに参加しておりました。安全管理部の設立に伴い、座長よりお声がかかり参画した次第です。

A2. 昨年同様、今年もコスギフェスタ運営にあたっての絶対無事故を勝ち取るための安全管理のボランティア集団のリーダーを務めます!

A3. 中原区で生まれ、中原区で育ち、一人暮らしも中原区、現在は

- Q1. コスギフェスタにはどのような経緯で参画されましたか？
 Q2. 今回のご担当役割について教えてください。
 Q3. 最後に、小杉のみなさまに熱いメッセージをどうぞ！

家族と共にコスギタワーに住んでいます。震災以降、ますますコミュニティが重要視されるなか、再開発エリアを中心とするコスギフェスタが街の最大のイベントになると確信しています。成功のためには常に絶対無事故を勝ち取ることが前提条件！そのために全力を尽くす決意です。昨年無事故を勝ち取った実績をもとに準備は万全です。子供達の笑顔を守る為にも、我々安全管理部が一肌脱ぎ、安全を守ります。その感動をみんなで共有しませんか？ご連絡お待ちしております！！



松尾寛 / ステージコーディネーター
 H.MATSUO / Stage Coordinator

A1. 皆さんの熱意に触れているうちにごく自然に仲間の輪の中に入ってしまった。多分、長い会社生活の間自分の中に封印されていた「何か」が、解き放たれたのではないのでしょうか。

A2. 去年、妻の所属する「東京ギャラクシー」がコスギフェスタに参加させていただき、その縁から、ステージ班の一員として、出演者の管理をするようになりました。今年も、去年の経験を生かして、引き続きステージ班として楽しみながら頑張ります。

A3. 去年のコスギフェスタは、武蔵小杉を子供達の「ふるさと」とし

て心に残るように、その思い出作りに一役買いたいとのスローガンで始まったのですが、子供達だけではなく、定年過ぎた「オジサン」を再生する意味でも素晴らしい「お祭り」でした。もちろん、子供達の思い出作りは今年もそのままですが、それに加えて、「なりたい自分になれる街」とのスローガンが出来ました。毎日、仕事のことで頭の中がいっぱいの「おとうさん」達も、この機会にちょっとだけ仕事を離れて、「今本当は何をしたいのだろうか」を考えて見たらどうでしょうか。もし、それが見つかったら、コスギフェスタで「なりたい自分（仮装するのも一案ですね）」になりましょう。見つからなくても、コスギフェスタに参加して、熱い仲間と一緒に行動していると「自分」が見えてきますよ。



森信三 / ステージコーディネーター
 S. MORI / Stage Coordinator

A1. この地域のお祭り(2008年に新駅広場予定地にて夏祭りを実施)を再開したいとの思いで、昨年の第一回から参加しました。夏祭り+ハロウィン⇒コスギフェスタへと発展できて良かったです。

A2. 今年も、演目の発掘、調整役(上丸子小、地域の方、大道芸等)をやっています。この役割を

担っていると、小学校、地域の方も随分期待されていることを肌で感じることができます。

A3. 小杉周辺地域の輪を広げよう！参加すると自分の輪も広がります！

ボランティアでも観客でもいいので、皆さんも是非参加してください！



石川智美 / ゲーム企画開発
 T.Ishikawa / Game Planner

A1. もともと地域活性化に関心があり、中丸子地区の皆様向けのイベントなどを行っていたところ、コスギフェスタ座長の山中さんとお会いしたご縁で、今回参画させていただくこととなりました。

A2. 小学校、中～高学年以上を対象としたゲーム企画を担当させていただきます。企画内容はまだ秘密ですが(笑)、お菓子をもらったりゲームを楽しんだり、思い切りコスギフェスタを満喫していただける企画となること間違いなしです。どうぞお楽しみに！

A3. 今回のコスギフェスタで、参加者も裏方も大いに盛り上がり、武蔵小杉がより一層安心・安全な素敵な街になればと思います！裏方側もとても楽しいので、みなさまもぜひご参画ください。

Q1. コスギフェスタにはどのような経緯で参画されましたか？

Q2. 今回のご担当役割について教えてください。

Q3. 最後に、小杉のみなさまに熱いメッセージをどうぞ！



足田智彦 / 広報戦略リーダー
HICKY / PAC & Marketing Director

A1. マンションだけでなく、地元の商店街、子どもだけでなく、ご年配の方と、地区、世代を越え、「挨拶の出来る身近なコミュニティ」作りの一環として、「身近な秋祭り」を開催したいと思い、参加しております！

A2. 広報担当として、幅広い世代の方々が、参加をいただけるように、よりわかりやすく、そして、イベントの本質を理解していただけるような活動を行いたいと思います！

A3. 今年の新サブテーマは、「なりたい自分になれる街」。コスプレもよし、子供向けイベントもよし、昼間から飲んで食べるのもよし！コスギフェスタは、「身近な秋祭り」です。万全の準備をして参加してもよし、コンビニ気分に参加するもよし！楽しみ方は、自分次第。是非、覗いてみてください！



本平基 / クリエイティブマネージャー
motoy / Creative Manager

A1. ひよんなことから、前回より参画しています。また、コスギフェス

タへの参画がきっかけとなり、今期からSFTの理事長も拝命しております。人生、何がきっかけになるかわかりませんね！

A2. ロゴ(プロフ写真横参照)・ポスター・パンフ・リーフレット等、デザイン全般を担当しています。毎年少しずつでも、コスギフェスタのブランディングを進めていきたいと考えております。

A3. 武蔵小杉はみなさんが創る、いや創っていく街です。街創りに参加できることなんて、早々ありません！住みやすい住環境、便利な商業施設、どこにでも行けるハブステーション、そして「なりたかった自分になれる」コスギフェスタがある、この武蔵小杉をみんなで作ってあげていきましょう！



志村仁 / ミッドスカイタワー特使
HITSHIM / MST Ambassador

A1. コスギフェスタに参画したのは、NPOエリマネの有志の地域に寄せる情熱に多いに共鳴するものがあったからです。30台前半から70台まで幅広い世代層が参加しています。題して「KOF情熱大陸」。

A2. 前回から引き続き、今回もJR横須賀線駅前のメイン会場と本部を調整するマンション特使を担当します。

A3. 地域イベントとか祭りとか全く無縁の私でしたが、昨年KOFワーキンググループに参加して、祭りは見るよりも創る方が断然楽しいことがわかりました。コスギフェスタは住みたい街を創りたいという情熱で生まれた手作り地域イベントです。KSG (KoSuGi) って利便性はいいけどシンボルがない、隣近所地域の人とつながりがないうって思ったことはありませんか？年齢、経験不問です、あなたの想いのひとつしずくを、KOF情熱大陸に落としてみませんか！



石井正士 / プロジェクトマネージャー
M.ISHII / Project Manager

A1. もともと、お祭り好きです。武蔵小杉再開発地域は、自分の故郷として、快適で魅力的な街に育ってほしい、そのために住民の意識が結集するこのお祭りをうんとうんと盛り上げたいと思っています。

A2. 今回はプロジェクト管理担当ということで、コスギフェスタ準備の全体のとりまとめを行っています。座長が表の顔だとすると、私は裏方に徹します。

A3. このエリアが豊かで快適な街になる、コスギフェスタはその大きなきっかけになります。自分たちの街を、自分たちの祭りを、自らの手で作る、という快感を、ぜひ皆さんと味わいたいと思っています！

こすぎナイトキャンパス — 保崎 幸一 (NPOエリマネ理事)

「こすぎナイトキャンパス」は、ここ武蔵小杉に在住在勤の方を対象に、いろんな勉強会・研究会を企画するサークル的なイベントです。現在は「読書会」を、2012年初頭から毎月第2月曜夜に開催し、すでに15回近くを数えました(2012年9月末時点)。

ところで、みなさん「読書会」というと、なんか堅苦しいイメージはありませんか？ 難しい本を片手に、声を出して輪読したり、一行一行意味を追い求めたり・・・とストイックなイメージが先行しがちですが、こすぎナイトキャンパスの読書会は全然そんなことはないんです。



ある日の“こすぎナイトキャンパス”

極端な話、この会においては、本は会話の糸口でしかありません。本のテーマなんてどうでもいいくらいに、話題はあちこちに飛んでいきます。たとえ飛んだとしても、最後にはブーメランのように話は本のことに戻ってくるんですね。そして太っ腹なことに、テキスト本を読んでこなくてもいい！(笑)

参加者は小杉在住在勤の老若男女(年齢不問です)がほとんどですが、他県他区からお越しくださる方もいらっしゃいます。そして、なんとテキスト本の著者までがこの読書会に乱入したりしたこともありました！

いままでのテキスト本は下記にあげています。参加人数は毎回5~10人とまちまちですが、和気藹藹の雰囲気の中にも談論風発の活発な勢いがあり、参加者同士大いに刺激を受けられると自負しています。本をいつも手にしている方も、たまに本を読まれる方も、一度参加してみてください。

【読書会テキスト一覧】

- 第1回(2012.1.16)・・・日垣隆『つながる読書術』(講談社現代新書)
- 第2回('12.1.30)・・・山崎亮『コミュニティ・デザイン』(学芸出版社)
- 第3回('12.2.13)・・・グリーンズ『ソーシャル・デザイン』(朝日新聞出版)
- 第4回('12.2.27)・・・立花隆『青春漂流』(講談社文庫)
- 第5回('12.3.12)・・・西原理恵子『ぼくんち』(小学館)
- 第6回('12.3.26)・・・坂口安吾『風と光と二十の私と』(岩波文庫)
- 第7回('12.4.09)・・・三島邦弘『計画と無計画のあいだ』(河出書房新社)
- 第8回('12.4.23)・・・ジョン・ガーズマ他『スPEND・シフト』(プレジデント社)
- 第9回('12.5.14)・・・内澤旬子『飼い喰い』(岩波書店)
- 第10回('12.5.28)・・・池上彰『伝える力』(PHPビジネス新書)
- 第11回('12.6.11)・・・色川武大『うらおもて人生録』(新潮文庫)
- 第12回('12.6.25)・・・村田 早耶香『いくつもの壁にぶつかりながら』(PHP研究所)
- 第13回('12.7.23)・・・佐谷 恭 他『つながりの仕事術』(洋泉社新書y)

詳細はホームページ又はフェイスブックをご参照ください。

【HP】http://design634.com/kosugi_nightcampus/

【facebook】※facebookにて「こすぎナイトキャンパス」で検索してみてください。

防災ワーキンググループの24年度活動テーマ — 亀井正樹（防災WG座長）

～来るか来ないかで言えば、『来る！』の気持ちでいること～

防災ワーキンググループ(以下WG)は発足から2年が経過しようとしています。3.11からも1年以上経過したことになりますね。この原稿を書いている7月は年度後半にやることを詰めている段階です。

今回は防災WGにて今年度活動するにあたり、何が課題か？ どうすれば解決できるか？ そのときNPO・防災WGの役割はどうすべきか？ という点で書いてみたいと思います。これを読んでいただいた方々が、この地域の防災に関して、それぞれ「そうだ!」「違う!」

「こんな考え方もある!」を考えるきっかけになれば幸いです。



エリマネでも防災備品を少しづつ揃えています

1. この地域、防災面から見て何が課題？

いきなり大仰なタイトルでごめんなさい。私たちは防災WGと名乗っていますが、別に防災の専門家集団ではありません。地域住民によるボランティアです。実際3.11の時もメンバーほとんどが帰宅難民となってしまう、地域防災にはほとんど貢献できていません。「どれだけ備えて、知識を蓄積しても、有事の際に地元にいるとは限らない」。残念ですがこれが現実です。そのこともふまえ、課題を列挙してみます。

(課題)

- ① 今の防災計画はマンション単位→大規模停電が起きれば一気に広域災害に！マンションの枠を超えて協力を！
- ② 防災意識の差→日頃から防災意識の高い人も、発災時そこにいるとは限りません！自分がリーダーになることもありますよ！
- ③ ケガ人が出たらどうしたら良い？→3.11もケガ人はほとんどいませんでした。ケガ人が出たときの混乱はこの地域未体験！

というところでしょうか。我ながら脅すような物言いではイヤですね・・・でもこれを発災時に受け止めないといけません。

2. その課題、どうすれば解決される？

実は昨年度、先に挙げた課題の内、『マンション内の防災計画整備』が防災WG内でも最優先テーマでした。各マンションで防災に関する委員会等組織を作り、マンション毎の防災計画を策定するというものです。この活動、本当に驚くほどのスピードで実現されました！

防災関連のマンション内での課題抽出と何をすべきかの策定、それらの動きをマニュアルにして住民に対して説明・・・マンションによっては実践の場である訓練まで行っています。

本当に凄い！皆さんの行動力には脱帽でした。各メディアもこうした活動に強い興味を持ち、ニュースとして取り上げていただいたり。こうした取り組みに関しては概ね成功したのではないかと思います。

エリマネでは次のテーマとして、防災の取り組みにおけるマンション間の括りをいい意味で「壊したい」と考えています。大きな災害が起これば、マンション内の被害状況確認を行った後、地域として災害に向き合わないといけません。

具体的に何をするか？一例を挙げるとマンション間の枠を超えた実践の場（訓練の機会）を設け、何も無い内にたくさんの失敗・反省をしておきたいと考えています。当然その機会は一部の方だけの参加によるものでなく、皆さんが参加できる「楽しい」ものにできればと考えています。こうした実践の積み重ねでこの地域に大規模災害が来ても、何とか被害を最小限にできれば・・・まだまだ道半ばですがこうしたことを防災WGでは考えていたりします。

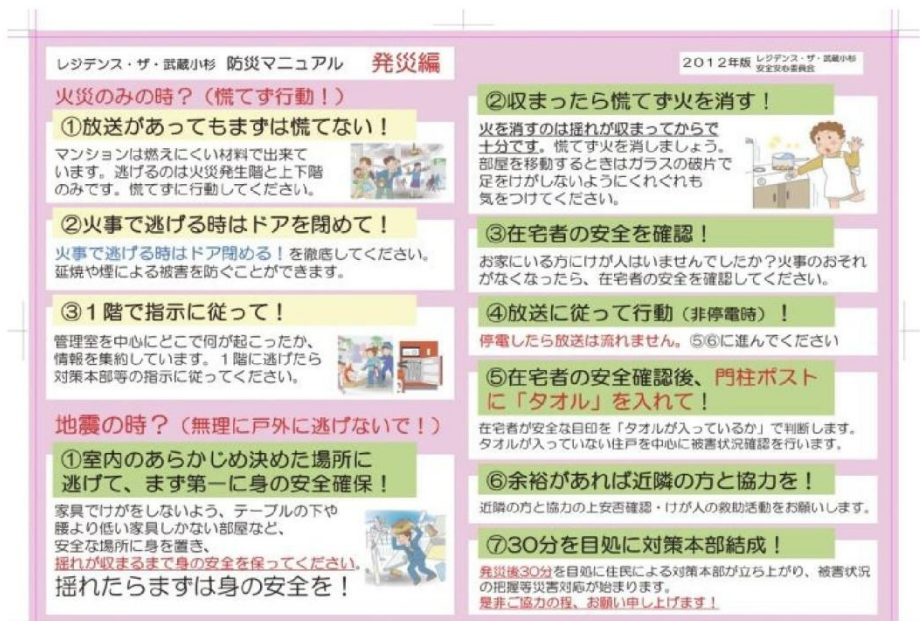
最後にサブタイトルに込めた意味をご紹介できれば。この地域において、3.11の記憶は確実に薄れてきています。これはしょうがないことです。常に発災を念頭において緊張することなんて出来ませんから。でも、どこかで“来るか来ないかで言えば「来る」”という意識を持ち続けておきたいものです。これにより、今災害が起きたら？と想像力が刺激され、それらが日常的な防災意識に繋がります。私たち防災WGもみなさんの想像力を刺激すべく頑張ります。これからもご理解とご協力をお願いいたします！

“来るか来ないかで言えば、『来る！』” 防災WGからのお願い

災害発生時、まず最初にご自分の命を守り、発災後の生活でも困らないのは『自助』の考え方です！災害が起こっても困らないよう、以下の意識を徹底しましょう。

- 今お住まいのマンションは堅固です。倒壊しませんので慌てずに行動しよう。
- ライフライン復旧までは自給自足の生活が待っています。最低でも7日間分の食糧、水、トイレの備蓄を。
- 家具を固定して、安全なお部屋づくりに心がけてください。発災時のケガは大抵ここで起こります。

以上



レジデンス・ザ・武蔵小杉の防災マニュアルです。いつでも見られるように一枚ものになっています。

パパママパークこすぎ（子育て交流サロン） — 芳賀誠（NPO エリマネ理事）

6月より「親子パーク開設」！！

エリマネの子育て支援も5年目に入り、スタッフ一同更にこころを引き締め、ご利用していただく皆さんへのサポートを充実すべく鋭意努力をしております。

本年度、新たに「親子パーク」を開設することになりました。親子パークは乳幼児から就学前のお子さんを対象に気軽にスペースを利用していただく企画です。お子様に広いスペースでの遊戯、ママの交流の場としてご利用いただければと思います。引き続き子育てに関する情報の提供と、さらに安全と衛生第一に活動して行きたいと思っております。



親子パークこすぎの看板です（労作）

・2012年度活動方針

- 定例活動の充実 (1) 時節のプログラム導入（ひな祭り、端午の節句、七夕、クリスマス）
(2) リトミックの導入（親子遊びを通じて赤ちゃんの感受性の醸成）
- 新規取り組み (1) 開放日の設置（住民とのふれあい＝小さな交流会と連携）
(2) OB会（パパママパークを巣立った、2～3才児の集い）
- 特別企画 (1) リトミック教室開催（スポットで開催）
(2) お話しの会（外国の子育て・育児のためになる話など、教養講座）
- その他 (1) エリマネ内関連活動と連携（エリア内での見守り）
(2) 分かりやすい広報活動（広報パネル・ホームページ・チラシの配布）

・毎月の開催日

新設	第1金曜日	親子パーク（ねんね～就学前）
継続	第2水曜日	ねんねの赤ちゃんクラス
	第3水曜日	ハイハイ・あんよの赤ちゃんクラス
	第4土曜日	総合クラス（パパも参加・写真撮影の日）

・スタッフ紹介

今回ご紹介する河村順子さんは、保育ボランティア“虹の会”（創立1981年）の代表者で小学校教諭・保育士の資格を持ち親子2代にわたり活動されている大ベテランです。ほかに虹の会から加藤黎子さんは、保健所福祉センターの嘱託ボランティアや中原女性防犯委員として地域活動に参加、臼井芳子さんは、こどもの虐待防止センターで電話相談をされています。宮坂正恵さんも中原保健所の運動普及促進推進委員



いつもはりきっている河村さん（右から2人目）、パパママパークの日、スタッフの方とっしょに

や食生活改善推進委員をしており、皆さん保育に関しての大ベテランです。(次回は再開発エリア内に住まれ子育て交流スペースのボランティアをして下さっている方々を紹介いたします。)

近隣マンションにお住まいのママさんに聞きました。

=====

Q1 パパママパークを知ったきっかけは？

A1 近くを通りかかって何かやっているなと思っていて「中にどうぞ」とスタッフの方に案内いただいたんです。

Q2 参加してみた感想は？

A2 自分の子どもの月齢と近い子どものママさんの友達が増えて良かった。マンション内では何かきっかけがないと知り合えないけど、ここに来て一気に増えました。



ある日のパパママパーク 総合クラス

Q3 今後どのような活動を望んでいますか？

A3 もう少し子どもが大きくなってきた時、紙芝居とかリトミックとか何か親子で一緒に遊べるようなことがあるといいなと思います。



ある日のパパママパーク ねんねの赤ちゃんクラス

・スタッフ募集

再開発地区にお住まいの方を対象に広くスタッフを募集しています。赤ちゃんとおふれあい、楽しくボランティアをしてみませんか。

ご関心のある方は、エリマネ事務局までお問い合わせ下さい。

・子育て交流スペース 2012年度の開設こよみ

パパママパーク (10:00~11:30)、親子パーク (10:00~12:00、13:00~16:00)

開催日程	クラス/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1金曜	親子パーク (ねんね~就学前)	5日	2日	7日	お休み	1日	1日
第2水曜	ねんねの赤ちゃんクラス	10日	14日	12日	9日	13日	13日
第3水曜	ハイハイ・あんよの 赤ちゃんクラス	17日	21日	19日	16日	20日	お休み
第4土曜	総合クラス(パパも参加、 写真撮影の日)	お休み	お休み	22日	26日	23日	23日

編集長インタビュー —この人に聞く 岩田室長—

岩田友利室長 プロフィール

1959年7月神奈川県川崎市生まれ。大学を卒業後、1982年川崎市役所都市整備局、2005年事業推進課、2006年小杉駅周辺総合整備推進室、2012年同室 室長。妻、子ども2人。

安藤 岩田室長、本日はよろしくお願ひします。今年から武蔵小杉担当になられたとのことですが、以前も確かエリアマネジメント(以下エリマネと略)に関わっておられましたね？

岩田室長 そうです、じつは2005年に小杉担当になりました。その当時、新住民を迎えるための組織づくりをしていこうという考え方から、市民部会(周辺の町会長など)、商業者部会(商店街)、事業者部会(デベロッパー)、若手部会(地元の若手の方)に分け、部会ごとに議論を2005~2006年と行っていました。

特にマンション販売会社にエリマネがあることを認識してもらうため、販売時に重要事項説明書に記載していただいて新住民に理解していただくよう努めました。各部会を週1~2回開催して議論を重ね、部会ごとにエリマネの重要性を理解してもらい、発起人会を開き、2007年3月にエリマネが誕生しました。2009年に神奈川県・臨海部整備推進室に異動になりましたが、まさか今年再度戻ってくるとは思いませんでした。



川崎市役所 岩田室長

安藤 エリマネの発足当時と最近の印象は？

岩田室長 発足当初は、地元の方々の組織であったので、新住民の方々に受け入れられるのかまったくわからず不安でありました。現在は7つのマンションがエリマネに加入し、非常に活発に活動していることに驚きました。当初から期待していた以上になったなあと思います。

安藤 川崎市まちづくり局は、武蔵小杉をどのような街にしたいと思っていますか？

岩田室長 当局では、川崎、新百合ヶ丘、武蔵小杉を広域拠点と位置づけており、重点的にまちづくりを進める地区です。武蔵小杉は「交流」と「にぎわい」があふれるヒューマンなまちづくりというコンセプトがあります。例えば、自由が丘は、若い女性の町、買い物の町というイメージがありますが、武蔵小杉についても今後商業系、業務系、住宅系が整備され、それぞれの開発ごとにイメージがつけられていき、その結果誰もが来たくくなるような街になっていけばと思っています。

安藤 エリマネがどのようになっただけでいいと思っていますか？

岩田室長 通常マンションは、町会組織や自治会組織ということが難しいため、行政との情報伝達がうまくできないのが実情であります。行政は、どうしても町会単位で情報を流していくということになりますが、エリマネがそのツールとしての役割を担うことができればと思います。

行政からの情報伝達や災害時の情報などの連絡体制ができ、エリマネが住民との窓口になってもらえればと思っています。

安藤 エリマネのメンバーの印象は？

岩田室長 これだけ活動的に熱心な議論をされている方々を見て、非常に前向きで、自分達の資産や町を守ろうとする気持ちがすごく強いと感じました。率先して活動を行っている姿や、理事会等の活発さには本当に驚いています。

安藤 ガラッとかわった質問ですが、岩田室長ってどんな人？

岩田室長 じつは、昨日、30年勤続の表彰を受けましたが、家に帰ればいたって普通のおじさん。休みには8年ほど前から座間市で畑仕事をしており、収穫物を家族や近所に配ったりしています。山歩きとお酒が好きです。



岩田室長

安藤副理事長

安藤 好きな芸能人は？

岩田室長 月並みですが、吉永小百合。サユリスト？です。

安藤 今年のコスギフェスタのキャッチフレーズは「なりたい自分になれる街、武蔵小杉！」ですがどんなコスプレするか、もう決めていますか？もちろん秘密かもしれませんが・・・。

岩田室長 それって、用意されて着るのではなく、自分で考えるわけですね？安藤さんと相談し、キャラが、かぶらないようにします。

安藤 最後の質問で今後のエリマネに期待することは？

岩田室長 エリマネは地元と共存をすることが重要で、無理せず気長に、よりよい町づくりを目指して行ってほしい。このエリマネは、いろいろなNPO法人がある中でも全国でもめずらしいまちづくりの団体なので、胸張って「武蔵小杉ここにあり！」という組織になり、志をもってこれからも頑張りたいと思います。

—インタビューを終えて—

岩田室長は、久々に武蔵小杉に戻ってきて、当初とは違って、エリマネが非常に活発で、バイタリティがあると驚いていました。私は、岩田室長を以前から知っていましたが、このように二人で直接話しをすることはなかったので、岩田室長もちょっと緊張していたかもしれません。お酒が好きなので、ぜひ次のときは、一杯飲みながらのインタビューにさせていただきます(笑)。また、違った一面が見られるかもしれませんね。岩田室長、ありがとうございました。

(聞き手 安藤 均)

NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント副理事長。一応、「こすぎの風」編集長。最近、「なりたい自分になれる街、武蔵小杉」からコスプレで変身することが多い？

「エリマネ」の活動って何だろう？ — 豊田浩人（NPO エリマネ理事）

「NPO 法人 小杉駅周辺エリアマネジメント」

エリマネの正式名称です。

全然よく解らない難しい名前です。

マンションの住民の方に聞いてみると

「楽しいイベントやってくれてるところでしょ。ハロウィン、うちの子が楽しみにしています。

とか、「防災でNHKに出ていたなあ。具体的な活動はよく解らないけど。。」

と言う声が多く聞こえてきます。

「エリマネの活動って何だろう」

素朴な質問です。

私たちが答えが見つからないまま、

暗中模索の中、2年間走ってきました。

そしてやっと方向性が見えてきました。

それはつまり、

「いろいろなものの橋渡しをするところ」

と言う事です。

「マンションとマンションをつなぐ橋」

「マンションと周辺地域をつなぐ橋」

「マンションと行政をつなぐ橋」

つまり、「人と人をつなぐ橋」なのです。

「防災」という言葉でつなぐと「地域防災」となります。

「こども」という言葉でつなぐと「コスギフェスタ」となります。

「節約」という言葉でつなぐと「コスト検討連合会」となります。

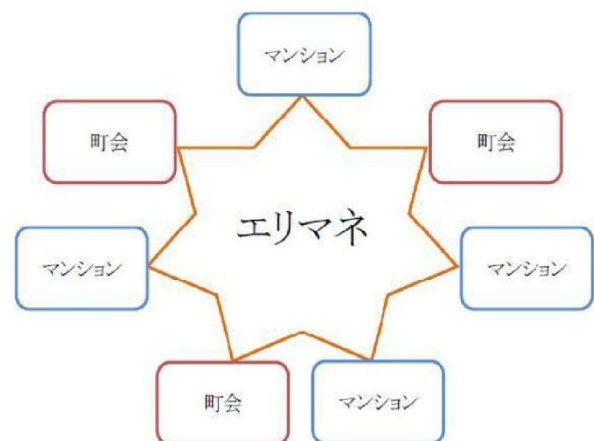
自分たちの住むエリアの地域価値向上を目標にしたボランティア。

汗をかけばかいただけ、自分たちの資産が増えていく。

なんとやりがいのあるボランティアでしょうか！

皆様も是非エリマネの活動にご参加頂き、一緒に汗を流しましょう。

汗をかいたあとの一杯のビール。最高です！



エリマネの役割

HP リニューアルのご案内

エリマネ HP が7月よりリニューアルしました。

すっきりしたデザインで、より見やすくなり

欲しい情報がすぐに検索できるようになっています。

また、コスギフェスタ裏方ブログもほぼ毎日更新中。

エリアの皆様は大評判です。

今まで以上にご愛顧の程よろしくお祈いします。



NPO エリマネの新ホームページ

こすぎの風からのお便り — 松本等 (NPO エリマネ理事長)

「秋来れば 祭りの太鼓 賑やかに 黄金波打つ 山里の道」

秋を迎え、実るほど頭を下げる黄金の稲穂の中を曲がりくねった田んぼ道、屋台に太鼓賑やかに通り過ぎる季節となり、田舎ではお祭りに盆踊りといった賑やかな季節です。

その田舎の行事の名残か、この町並みもお祭りに盆踊りで賑わいます。田舎から都会を見れば毎日が祭りかと賑やかで錯覚を覚えるほどです。ここ武蔵小杉駅周辺地域でも、昨年からはロウインと同時開催のコスギフェスタという秋祭りが開催されました。コスギフェスタワーキンググループの方は、今年の10月27日に行うコスギフェスタも昨年以上の賑やかさにしたいものだと、土日を返上し日夜これに取り組んでいます。また他のワーキンググループの方も一生懸命です。

月日のたつのは早いもので、NPO 法人が設立され早5年が過ぎました。振り返れば新しくお住まいになられた方々の積極的かつ近代的発想と行動力によると同時に、旧住民の方々や企業のご協力により今日の素晴らしいエリマネに育ちました。改めて感謝し、今後もマンション住民と近隣町会の友情をますます育み、互いに助け合っていくことができると思っています。



早朝の大そうじ大会で頑張っている理事長

■こすぎの風 第2号 2012年9月発行

編集長： 安藤均

副編集長：豊田浩人／保崎幸一 編集委員：塚本りり／石井正士／村松秋彦

表紙デザイン： 本平基

表紙写真撮影： 武蔵小杉ライフ (<http://www.musashikosugilife.com/>)

発行人： 松本等

発行： NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント (<http://musashikosugi.or.jp/>)

川崎市中原区中丸子112番地3 電話 044-433-9180 (事務局)

とんかつの元祖 とんQ亭



当店ソムリエが選んだワインも用意しています。開店11時～21時まで休憩なしで営業中です。*午後13時～17時頃は法事や二次会の宴会をぜひ。

TEL 044-711-2339

営 11:00～21:00 休 無 住 小杉町1-403
アクセスは“とんQ亭 武蔵小杉”で検索を

地元武蔵小杉で愛されて40年

9999 lafont. TALEX POLARIS BARBERS SINCE 1988

当店のこだわりはWEBで

駅前通り商店街 メガネのオーサカ

メガネのオーサカ

川崎市中原区小杉町3-426
TEL: 044-722-4262

炭火焼き 仲



焼き鳥、一品料理、地酒

中原区小杉町3-258
石橋ビル1F

TEL 044-722-9833

営業時間 17:00～23:00

定休日 日曜、祝日



しゃぶしゃぶ **くらりん** すき焼き

厳選された和牛と自家製のタレは絶品です！

営 11:30～14:00 (火、水、木、金ランチタイム)
17:00～22:30 定休日 月曜日

住 中原区小杉町山協ビル2F(イトーヨーカ堂前)
電話 044(711)8980 URL: <http://kuririn.com>

自分だけのために仕立てるという贅沢

本誌ご持参の方
オーダースーツ特別優待券 **5%OFF**
※その他割引との併用はご遠慮下さい

洋服のことでお困りの際はお気軽にお電話下さい 職人のいる身近なオーダー屋
0120-72-2901 **仕立館**
TEL: 044-722-2901
携帯電話・PHSからは044-722-2901
営業時間 11:00～20:00 水曜日定休

毎日のお買い物は、武蔵小杉駅前通り商店街へどうぞ

東急線の武蔵小杉駅南口から出れば、すぐ目の前の商店街です。



お店情報はWEBから
<http://musashikosugi.info/>

注目の街、コスギの魅力をつっぷりお届け!

武蔵小杉Walker

好評発売中!

なんでもランキングにグルメまで
まるごと1冊武蔵小杉の情報満載!

お買い求めは
書店・コンビニで

定価 **980円(税込)**
発行(株)角川マガジズ

BISTRO 30

武蔵小杉 新南口徒歩2分 気軽なワインビストロ

フレンチをベースにしたカジュアルな肉・魚料理。
リーズナブルな各国ワインを取り揃えておきます。



グラスワイン 赤・白	¥580
生ビール (プレミアムモルツ)	¥580
ワイン ボトル	¥2900 ~
パテ・ド・カンパーニ	¥680
自家製・粗挽きソーセージ	¥880
名物・やんばる豚のポークナックル	100g ¥250
照り焼きのムース	¥580
牛ホルモンの黒ビール煮込み	¥880
熊もも肉のコンフィ	¥980
スモークサーモンのムース	¥580
鮮魚四種のカルパッチョ、ガーリックとハーブ風味	¥980
季節の鮮魚グリル	¥1280
春巻のサラダ クリーミーヨーグルト風味	¥480
具だくさんニース風サラダ	¥780
アンチョビキャバツ	¥580
旬野菜のグリル アンチョビクリームソースとタンドリーソース	¥780
本日のパスタ	¥880 ~
やんばる豚のスープソット	¥580

定休日 /// 月曜日 OPEN /// 17:00 ~ 24:00 LAST ORDER /// FOOD 23:00 /// DRINK 23:30
TEL /// 044-948-7430 ADDRESS /// 川崎市中原区中丸子13-20 クレール武蔵小杉1F

新しい時代へ—東急グループ

NPOエリマネ会員マンション様限定キャンペーン
転勤・住み替えの留守宅賃貸で家賃収入

高額査定



国土交通大臣(5)5094号

東急リロケーション

武蔵小杉営業所 〒211-0005 川崎市中原区新丸子町921(明治安田生命小杉ビル7階)

TEL **044-711-3109** 詳しくは **いざ貸す** 検索
FAX 044-711-6109 営業時間 9:30~18:00(水曜定休) 日本賃貸住宅管理業協会会員



JR 南武線武蔵小杉駅北口徒歩1分



〈野村〉に皆さまのご要望をぜひ、お聞かせください。
開放感あふれる店舗で、お待ちしております。



野村証券株式会社 武蔵小杉支店

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子13番地2(野村不動産武蔵小杉ビル N棟)

営業時間 ●店舗:9:00~16:00 ●電話受付:8:40~17:10
●ATM利用:平日8:00~21:00 土日祝:9:00~18:00

■お問い合わせ先

TEL **044-330-3200(代)** それ、野村にきいてみよう。



JR横須賀線 武蔵小杉駅 新南改札口 徒歩3分